

2016 年 9 月 30 日

第 47 回「博報賞」受賞者決定

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、第 47 回「博報賞」の受賞者を決定し、本日発表いたしましたのでお知らせいたします。

今年度は団体 9 件、個人 3 件、合計 12 件の「博報賞」が選出されました。「博報賞」の贈呈式は、11 月 11 日(金)午後 4 時より、日本工業倶楽部(東京都千代田区)にて行われます。

■当事業の目的

当事業は、児童・生徒の「豊かな人間性育成」に尽力されている学校・団体・教育実践者の顕彰を通して、児童教育の現場を支援することを目的としています。

■賞の内容

「国語・日本語教育部門」「特別支援教育部門」「日本文化理解教育部門」「国際文化理解教育部門」「教育活性化部門」の 5 部門が贈呈対象であり、教育委員会、学識経験者など第三者から推薦された候補者の中から、審査会(委員長:四日市 章 筑波大学名誉教授)において審議決定されます。

受賞者には、賞状と副賞金(100 万円)が贈られます。また、受賞者の中から特に奨励に値するものとして「文部科学大臣賞」が贈られます。

■今年度の受賞者

今年度は「国語・日本語教育部門」4 件、「特別支援教育部門」2 件、「日本文化理解教育部門」3 件、「国際文化理解教育部門」0 件、「教育活性化部門」3 件、合わせて 12 件に「博報賞」が贈呈されます。

「国際文化理解教育部門」は該当がございませんでした。

文部科学大臣賞は 3 件に贈られます。

各部門の受賞者は次ページをご覧ください。

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年、株式会社博報堂の創業75周年記念事業として設立されました。新公益法人制度の施行に伴い、2011年4月に公益財団法人として認定され、現在に至ります。次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる4つの事業を行なっています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhofoundation.or.jp/> ◇

■本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
博報賞担当
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp

2016 年 9 月 30 日

第 47 回博報賞受賞者一覧

国語・日本語教育部門： 4 件

長野県	読書の森 読り一む in ちの	公民協働による読書推進活動「読書の森づくり」
大阪府	堺市立新浅香山小学校	「本の紹介活動」から始める主体的な読み手を育てる読書指導
千葉県	横田経一郎 ★	主体的に学び、自力で読める児童を育む文学単元の創造
岐阜県	西田拓郎	俳句づくりによる言語活動の充実

特別支援教育部門： 2 件

栃木県	特定非営利活動法人障がい者福祉推進ネットちえのわ	共に学び共に育つための障がい理解啓発活動の実践
島根県	松江市立雑賀小学校	1 年生におけるひらがなの読みの実態把握と指導・支援

日本文化理解教育部門： 3 件

静岡県	牧之原市菊川市学校組合立牧之原中学校	学校茶園をとおした、地場産業理解と社会性を育む活動
京都府	京都市立高倉小学校 ★	地域と共に誇りある日本文化を学ぶ教育課程の編成
兵庫県	坪井美津子	尼崎を愛し、文化の持続発展を目指す「心を育む邦楽教育」

国際文化理解教育部門： 該当なし

教育活性化部門： 3 件

岩手県	盛岡市立下橋中学校	環境を見つめ主体的に行動する生徒の育成「SHEL 学習」
宮城県	一般社団法人教育総合支援機構ゆわう	産学官民連携による社会人特別授業の推進
福島県	飯舘村立飯舘中学校 ★	継承から創造へ 誇りをつなぎ未来を拓くふるさと学習

★印は博報賞にあわせて文部科学大臣賞受賞